

東京都立 多摩総合医療センター

副院長着任のご挨拶

多摩総合医療センター
副院長 市岡 正彦



このたび、平成26年4月1日付けで、上田哲郎副院長の後任として公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院から着任いたしました。これまでの院長、副院長は、府中病院や多摩総合医療センターで育った方々が多く、多摩地区の先生方には馴染みが深かったと思いますが、私は多摩地区での勤務が初めてですので、まず自己紹介から始めさせていただきます。

東京生まれの東京育ちですが、父は岐阜県中津川市の出身で、「市岡」という名前は全国では2,000位以下という稀な名前にもかかわらず岐阜県では259位、中津川市に限っては堂々13位に入ります。大学は山形大学医学部の一期生で、同時に新設された3医学部（愛媛大と旭川医大）すべてが変則的に秋に開校したため、何と5年半で医学部を卒業しました（半年浪人が現役生と同じになりました）。大学卒業後は東京医科歯科大学第二内科に入局し、呼吸器内科を専攻しました。最初の研修病院は武蔵野赤十字病院です（そう言えば多摩地区ではすでにデビューしていました）。大学病院のほかに横須賀共済病院、土浦協同病院にも勤務し、平成11年に都立豊島病院がリニューアルオープンした際に初めて都の職員となりました。その後15年間豊島病院に勤務し、今回の異動となりました。

私を語るもうひとつのキーワードは「サッカー」です。小学校4年からサッカーを始め大学卒業までサッカー三昧の日々でした。当時は日本リーグの時代でしたが、サッカーは人気・実力とも低迷期にあり、ワールドカップはおろかオリンピックに出るのもままならぬ状態でした。それでも（私のように!?) 未来のワールドカップ出場を夢見て多くの若者がサッカーを続けた結果、Jリーグ発足と同時に日本サッカーは開花し、今やワールドカップ出場の常連国にまで発展してきました。昔を知る人間にとっては夢のような話です。

前任地の豊島病院は地域医療支援病院であり、その中で医療連携室長、医療連携担当副院長として、地域の先生方と顔の見える連携を心がけてきました。当院は都立府中病院時代から多摩地区の基幹病院としてその役割を担ってきたわけですが、その規模と診療レベルの質の高さは都内でも屈指の病院です。高度専門医療とERを中心とした救急医療の両輪を担う当院は、患者さんに安心・安全の医療を提供し、地区の医療機関の先生方とは信頼される緊密な連携関係を維持していかなければなりません。さらに地域災害拠点中核病院としての役割も課せられています。まずは地域の先生方と十分なコミュニケーションを取りながら、病院が果たすべき機能を最大限発揮して多摩地区の医療を支えていくために尽力したいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



看護部長就任のご挨拶

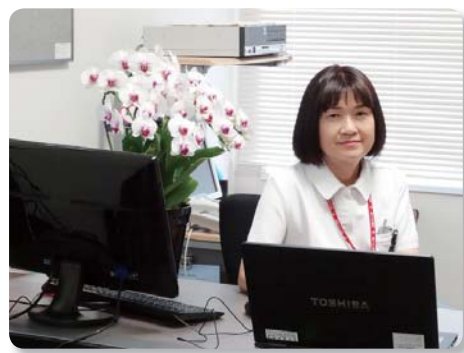
看護部長 畑田 みゆき

平成26年4月1日付けで、大田看護部長の後任として看護部長に就任致しました。旧都立府中病院で通算16年間、平成22年4月に都立多摩総合医療センターの看護担当科長として着任、3度目の勤務になります。長きにわたり、地域の先生方、関連医療機関の皆様には大変お世話になりました。大変ありがとうございました。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

患者さんへの包括的な質の高いサービスを提供するために立ち上げました総合患者支援センター（医療連携、がん患者相談、退院支援、在宅医療支援、病床管理など）は、お陰さまで2年が経過し、多くの医療機関の方々にご理解とご協力を頂いております。

総合患者支援センターでの看護部門は、特に退院支援・病床管理・がん相談部門の機能の充実に向け取り組んでまいりました。一人でも多くの入院患者さんを受け入れるために、平日の朝全部署の看護長が参加した病床管理調整会の開催を始めとして、総合的な病床マネジメントを行っております。退院支援・がん相談の機能につきましては、本年4月から人員を増やし、迅速な対応を目指して取り組んでいるところでございます。地域の医療機関の方々からの一層のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



都立多摩総合医療センター 人事異動

【転入】平成26年4月1日付

副院長	市岡 正彦
脳神経外科医員	申原 義啓
耳鼻咽喉科医員	吉原 晋太郎

【昇任・所属変更】平成26年4月1日付

精神神経科部長	成島 健二
救急診療科部長	伊賀 徹
外科部長	足立 健介
精神神経科医長	奥野 薫
外科医長	小坂 至
内科医長	本田 仁

【採用】平成26年4月1日付

外科医長	保坂 晃弘
整形外科医長	増田 和浩
リウマチ膠原病科医長	桃山 現
内科医員	平澤 卓
呼吸器内科医員	阪下 健太郎
循環器内科医員	磯貝 俊明
循環器内科医員	森 大
循環器内科医員	植松 庄子
循環器内科医員	小木曾 正隆
精神神経科医員	田村 越紘
外科医員	吉井 淳
整形外科医員	岩永 康秀
脳神経外科医員	広川 大輔
脳神経外科医員	島田 大輔
形成外科医員	久保 和之
皮膚科医員	神崎 綾乃
産婦人科医員	渡邊 深雪
産婦人科医員	大井手 志保
救急診療科医員	佐藤 祐
救急診療科医員	九鬼 隆家
救命救急センター医員	萩原 祥弘

【転入】平成26年5月1日付

脳神経外科医員	齊藤 徹
---------	------

【採用】平成26年5月1日付

外科医員	前田 英之
麻酔科医員	真崎 藍

【転出】平成26年4月1日付

副院長	上田 哲郎
救命救急センター部長	檜山 鉄矢
リウマチ膠原病科医長	西川 卓治
脳神経外科医員	新村 学

【退職】平成26年3月31日付

内科医員	山崎 潤
呼吸器内科医員	佐々木 茜
循環器内科医員	蟹沢 充
循環器内科医員	小暮 智仁
循環器内科医員	菊池 規子
循環器内科医員	宮坂 知沙
精神神経科医員	児玉 知之
精神神経科医員	細田 益宏
外科医員	三好 哲太郎
外科医員	工藤 昌良
整形外科医員	浅井 秀明
整形外科医員	豊岡 青海
脳神経外科医員	上野 龍
脳神経外科医員	平岩 直也
皮膚科医員	神田 泰洋
泌尿器科医員	小谷 桂子
産婦人科医員	山下 有加
産婦人科医員	北脇 佳美
麻酔科医員	藪崎 貴美子
救急診療科医員	堀部 昌靖
輸血科医員	篠田 大輔



リウマチ膠原病科のご紹介



リウマチ膠原病科医長 杉井 章二

いつも大変お世話になっております。

当院リウマチ膠原病科は、①筋骨格関節内科、②全身性自己免疫・自己炎症内科、③リウマチ整形外科、の3つの診療領域をカバーする診療科として活動しております。

①は変形性関節症のように歴史的な整形外科疾患を除きます。代表疾患は何と言っても関節リウマチです。その他に強直性脊椎炎を含む脊椎関節炎や偽痛風や関節症状のある痛風などを診療しております。②につきましては全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎・多発筋炎のような典型的な膠原病や血管炎症候群、ベーチェット病、シェーグレン症候群などが診療の対象となっております。③はリウマチ膠原病科連の整形外科的治療を行います。人工関節置換術が代表例です。

●入院診療

当院は多摩地区においてリウマチ膠原病専門の病床を持つ数少ない施設のうちの一つです。

2013年度は458人、2012年度は495人の患者さんが当科で入院加療を受けられました。内訳は約4割が関節リウマチとそれに伴う合併症、後の6割が膠原病の原病コントロールと合併症治療です（下表参照）。このうち緊急入院が4割程度で、当科かかりつけの患者さんだけでなく、近隣のクリニックや病院からの緊急入院にも直接当科にご連絡をいただくことにより対応しております。

リウマチ整形外科では、人工関節置換術をはじめとするリウマチ膠原病に関する手術を行っております。入院中はリウマチ内科医が副主治医として内科的な管理を行いますので安心して手術を受けていただけます。

●外来診療

当院のかかりつけ患者さんは約2500人で、そのうち約50%が関節リウマチです。

関節リウマチの治療はここ最近目覚ましいものがありますが、当科もMTXや全ての生物学的製剤が使用可能です。また当科ではリウマチ診療支援二次システムを導入しており診察の度に関節リウマチの疾患活動性を計測して、これを参考にTreat to Target（目標値を据えた治療）の実践が可能です。これらにより最近発症の関節リウマチの患者さんに対して、「日常生活をなんとか送れることを目標にする」から、「仕事など社会生活を通常通り送れるようにすることを目標にする」への変化を可能にしております。

●当科外来診療

- ・当科外来初診は全て予約制です。また診療情報提供書を必須としております。
- ・医師の指定ができません。これは医師による初診予約数の偏りをなくし、可能な限り早く診察をできるようにするためです。
- ・予約なしの患者さんの直来は診療情報提供書をお持ちでも受け付けておりません。
- ・急を要するときには、当科に直接ご連絡ください。
- ・現在、「線維筋痛症」の診療は行っておりません。
- ・当科的疾患が落ち着いた後は近隣のリウマチ専門医に逆紹介させていただきます。およそ半年が目安です。患者さんの返送の可否を診療情報提供書に御記載いただければ幸いです。
- ・高血圧など一般合併症の御加療はご紹介の後も御継続いただければ助かります。

●2013年度入院患者内訳

疾患名	症例数
関節リウマチ	187
全身性エリテマトーデス	68
全身性強皮症	17
皮膚筋炎・多発筋炎	33
混合性結合組織病	6
ANCA関連血管炎	36
結節性多発動脈炎	20
側頭動脈炎	5
IgG関連症候群	2
リウマチ性多発筋痛症	12
ベーチェット病	8
再発性多発軟骨炎	3
その他	61
合計	458



公開CPCのご案内

顔の見える医療連携の更なる推進を図るため、これまで院内で行なっていたCPC（臨床病理検討会）に地域医療機関の先生方にもご参加いただきたく、ご案内させていただきます。是非ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

毎月第3木曜日 午後6時～午後7時 4階 401 会議室

（8月は除く。都合により開催日を変更する場合あり）

※次回6月19日（木）、7月17日（木）を予定しております。詳細は別途ご案内いたします。

●● 各種講習会・勉強会のご案内（医療従事者向け） ●●

医療連携臨床懇話会

平成26年6月5日（木）午後7時～午後9時 都立多摩総合医療センター講堂フォレスト

- 「紹介が必要な検尿異常」 腎臓内科部長 西尾 康英／泌尿器科部長 長瀬 泰
- 「心房細動の治療と管理」 循環器内科医長 二川 圭介

●● 各種講習会・勉強会のご案内（患者さん向け） ●●

※参加無料、事前予約不要です

糖尿病講習会（会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト）

- 「糖尿病網膜症」「点眼薬を正しく使いましょう」「外食・宅配等の利用方法」
日時：平成26年6月11日（水）午後2時から午後4時
- 「糖尿病腎症」「透析療法の実際」「腎症予防に向けての食事」
日時：平成26年7月16日（水）午後2時から午後4時
- 「糖尿病のセルフコントロール」「糖尿病内服薬の飲み方」「糖尿病手帳の使い方」
日時：平成26年8月13日（水）午後2時から午後4時
- 「糖尿病の内服薬」「糖尿病の運動療法」「嗜好品等について」
日時：平成26年9月17日（水）午後2時から午後4時

当院は原則として、**紹介予約制**です。
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、
紹介状をお願い致します。

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9200

ご意見、ご投稿、お問い合わせは
医療連携係（秋山・渡邊・高橋 内線2171）まで

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX：042-323-9205

緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

※一部の診療科では、夜間・休日は専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状（診療情報提供書）をお渡しください。

東京都立多摩総合医療センター 〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29
TEL 042-323-5111（代表）

